



週報

2011~2012年度 国際ロータリーのテーマ

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

No.0919 2012.2.20 第28例会

◆本日のプログラム

2月20日
創立記念例会
(夜間例会)

◆理事・役員(2011.7~2012.6)

会 長	藤岡 温	会 計	岡本 和夫	理事・親睦活動	小松 忠男
副 会 長	花房 茂	理事・職業奉仕	丹治 康浩	理事・プログラム	相原 利行
幹 事	原 全伸	理事・社会奉仕	大饗よし江	理事・ロータリー財団	岡村 秀男
副 幹 事	樋口 芳紀	理事・国際奉仕	原田 徹美	直 前 会 長	川西 熊雄
理事・S.A.A.	山田 喜広	理事・新世代奉仕	小松原 隆代	次 期 会 長	西山 隆三郎
副 S.A.A.	河田 肇	理事・会員増強	大賀 章弘		

◆次回のプログラム

2月27日
クラブ協議会



Reach Within to Embrace Humanity

岡山北西ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ
 事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階
 TEL(086)222-9590・222-0384 FAX(086)224-4288
 E-mail:hokusei@6rc.jp
 http://www.okayama-hokusei-rc.jp
 友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ
 E-mail:suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

地区スローガン

「ロータリーは人をつくる」

クラブスローガン

「親睦の絆で高める奉仕の心」

●例会場

岡山市北区駅元町1-5
ホテルグランヴィア岡山

●例会日

毎週月曜日
12:30~13:30

前回2月13日の例会記録

出席の状況

会員数 52名 (内出席免除 5名) 出席者数 39名 欠席者数 13名
出席率 79.59% 前々回訂正 95.92%
欠席者 藤原, 入江, 岩本, 川本, 鴻上, 小松原, 新倉, 大賀, 竹本, 丹治,
(平野), (市川), (中西(広))

ビジター

岡山RC 越宗孝昌様

S.A.A.



柏野会員

結婚記念日に立派な花束を有り難うございました。いつまでも75才と称する家内も今月満80才を迎えます。脚力の衰え防止と言って毎日気儘に散歩していますが、「安心ナビ」で私が管理しています。



西岡会員

1月に結婚記念日の花束をいただきまして、ありがとうございました。妻もよろこんでおりました。

以上,2件 12,000円(累計 673,500円)

会長報告

会長 藤岡 温

ロータリーの友1月号を読んでおりましたら、RIと各クラブとの関係について、RI戦略計画委員の南園義一氏(防府RC)が大変重要なことを語っていました。

即ち、RIはRIからの指示をなるべく減らし、クラブがより具体的に独自にやりたいことをやるという方向に変わってきている、まずプログラムがあってそれを選択してやるという時代は過ぎ、自分たちで考え、責任をもってやっという時代に入っていることをぜひ理解頂きたいと。

各クラブあってのRIであるにもかかわらず、これまでは、RI→地区ガバナー→各クラブという上意下達の体制が蔓延し、そのことがロータリー全体の衰退の一因になっているという危機感を表明したものです。

各クラブの活性化なくしてRIの発展はなく、そのためには、各クラブは過去の在り方に固定的に囚われることなく、各クラブ独自の長期的なビジョンを策定し柔軟かつ革新的に取り組んでいくべきだということです。

全くの同感ですが、私はむしろこの流れこそ本来の在り方であって、地区やRIは決して上納組織であってはならないと考えます。クラブ財政的にみても、クラブのお金は我々自身が決めたクラブの奉仕活動に使うのが本来であって、上から出せと言われて事なかれ主義的に出すべきものではありません。この意味において、クラブ財政とロータリー財団の関係は根本的に見直されなければならない時期にきていると思います。新地区補助金制度も過渡的な立ち位置にあるものであって、決してそれ自体を自己目的化(絶対視)してはならないものと思います。我がクラブも今後の20年を考えると信念と勇気を持って第一歩を踏み出すべきときではないでしょうか。

幹事報告

幹事 原 全伸

- ・先週のクラブフォーラムでご賛同をいただきました大槌中学校への理科実験教材の寄贈の件ですが、例会後の理事役員会にて先方から要望のあった備品一式(約83万円)を3か年分を前倒して一括寄贈することにしました。なお、お金の集め方につきまして3月5日のクラブフォーラムにて改めてご提案させていただきます。
- ・2月6日15時より「旧山陽道マップ・案内説明板」の贈呈式が奉還町防災センターで行われ、藤岡会長から駅西地域街づくり協議会に「旧山陽道・案内説明板 一式」と「旧山陽道マップ・リーフレット3,000枚」寄贈の目録が贈呈されました。
- ・本日、レターボックスにロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)のご案内を入れております。参加ご希望の方は事務局までお申し込みください。
- ・来週2月20日(月)は、創立夜間例会となっております。
- ・本日例会終了後、第2回被選理事役員会を開催します。

内部卓話（イニシエーション・スピーチ）

坪井 雅弘 会員

- 1) 私の現在の仕事は、済生会吉備病院で脳神経外科医をしています。回復期リハビリテーション病棟のマネジメントと、脳疾患・脊椎疾患のリハビリ患者の入院治療、「頭痛、手足のしびれ・痛み外来」などの外来診察と、病院の経営への参画などが主な仕事です。
- 2) 仕事の息抜きとしては、テニスと美味しい日本酒を楽しむことです。テニスは「遊ブラザテニスクラブ」で早朝テニスをしています。テニス仲間との楽しみは、毎夏の八ヶ岳テニス合宿で高原テニスと温泉と仲間との談笑を満喫することです。また、旅先で美味しい地酒に巡り合うことも楽しみです。このようなテニスと日本酒が好きな私ですが、今後ともよろしく願いいたします。



末吉 賢多 会員

1月23日より岡山北西ロータリークラブに入会させていただきました、末吉賢多と申します。どうぞよろしく願いいたします。1967年（昭和42年）3月10日岡山市生まれの44歳でございます。妻・長女9歳・長男5歳の4人家族でございます。

バブル期の東京での大学時代は勉強よりバイトに勤しみました。思い出に残る長く続いたバイトとして、動物のぬいぐるみを着てのイベント手伝いという仕事をしておりました。最初は私の世間知らず・人間としての未熟さもあり、働いてお金を頂戴するという事への行動が伴っていませんでしたが、その業界のプロの方たちより「働くという事」の厳しさ・達成感・感謝の気持ちを教えていただき、大変有り難い経験をさせていただきました。



1989年（平成元年）に大学を卒業後、7年間資生堂薬品という会社に勤めており、東京勤務後仙台支店に3年赴任いたしました。担当する地域が内陸や日本海側であったので、今でも仲良きさせていただいております方たちは無事であったのですが、昨年来、新聞等で報道されております様に、東北の方たちの優しさを実感することができた事柄がございました。冬の峠道に地吹雪にあい、車で立ち往生しておりますと、近所の方が自宅に招き入れてくださり、「食事を食べていけ」、「危険なのでこのまま泊っていくように」とおっしゃってくださいました。見ず知らずの人間を泊めて頂くことへのお礼をいいますと、地域で助け合いながら生活している旨のことを言われたことに感動したことを覚えております。

その後、1996年より現在勤めております中国空瓶株式会社に入社いたしました。会社名では仕事の内容がわかりにくいと思いますのでご説明いたしますと、ガラス瓶・ペットボトルを中心とした食品容器をメーカーより購入し販売しております商社でございます。戦前は一升瓶などの古瓶を回収し酒造メーカーに納入させていただく仕事が多かったのですが、現在は新しい容器を中心に食品会社・酒造メーカー様へ納入させていただいております。自分たちが提案販売した容器が製品となり、スーパー等店頭にて陳列されておりますことに、達成感を感じております。

また、業務の一つとして、ガラス瓶原料の販売を行っております。近年、食品容器はガラス瓶から他素材の容器に替わってきておりますが、特にリサイクルを強くいわれております現在、一升瓶・ビール瓶など洗浄後、繰り返し再使用できる食品容器は他にはございませんし、また「カレット」といまして皆様の家庭より発生するガラス瓶食品容器を岡山市など行政が色別のガラス瓶に分別回収し、弊社が購入しガラス瓶のメーカーに販売し、新しい原料2～3割と混ぜ再度ガラス瓶を製造しております。これらのことにおいても、ガラス瓶のリサイクル性・安全性・温かみ等優れ、リサイクルの時代に即した食品容器であると強く感じ、今一度食品容器の中心にしたいと思っております。

最後に、幼少期より「ロータリークラブ」という言葉はよく耳にし、クリスマス家族例会などに参加させて頂いておりました。しかし自身が入会をさせていただきながら、ロータリークラブについて十分に理解できてない若輩者でございます。今後は皆様にご指導いただきながら、岡山北西ロータリークラブにおいて勉強をさせていただきたいと思っておりますので、何卒よろしく願い申し上げます。本日はありがとうございました。

寄稿文

友好登山—叡山の道を歩く— 平成23年11月13日(日)

岡山北西RC 岡村秀男、高橋峯男、小橋幹雄、岡本和夫・晶子
京都朱雀RC 増田典、北篤人、高井優次

28歳から3年半、いわゆる湖南の地に住し、医師としての初期研鑽を積んだ。毎日琵琶湖を眺め、また比叡山を遠望したものである。琵琶湖、近江盆地は県面積の大半を占め、冬の気候は日本海的である。その当時高校程度といっても受験科目として選択しなかったため、特に古代、中世の日本史の知識はなく、なんとなく毎日通りすぎていた。今年の友好登山は、歴史香う叡山を歩くことになり、奇しくも若き頃の滋賀での生活を思い返す山行となった。

現在、京都から北陸に向かうルートは専ら湖西線である。山科から長等山トンネルを抜けて大津京、ここに667年中大兄皇子（後の天智天皇）が遷都したが、子の大友皇子（弘文天皇）が壬申の乱に敗れたため、わずか5年余りの都であった。皇子山などの地名から往時を偲ぶことができる。唐崎駅を通過し比叡山坂本駅に到着した。市街化が急速に進み、並走する西大津バイパスも絡んで交通量が多い。ここから「作道」という大路を西に向かって緩やかに登って行く。途中最澄の生誕地である「生源寺」を右に見て進む。溝々には比叡からの山水が勢いよく走っている。坂本は中世から近世にかけて、人口二万人を擁したといわれており、まさに叡山の首都のような観があった。小路には穴太（あのう）衆による石積みがここかしこに見られ、湖岸の雰囲気とは一変し、静寂に包まれる中を歩いた。比叡山に至る道として、京の都からは北より、走出（はせだし）坂、松尾坂、雲母（きらら）坂、そして坂本からは北より、大宮（横川）道、本坂、無動寺道がある。今回は大宮道を辿って横川（よかわ）へ向かうことになった。

日吉大社を右にやり過ぎ、石段を登ってよいよ大宮道が始まった。むかしから叡山では「三塔十六谷」といわれる。天台宗の総合大学と称すべきもので、三塔（東塔、西塔、横川）は三学部とみていい。その下に谷という学科ともいえるものが付属していた。道は大宮川のせせらぎの音をはるか下に聞きながら、杉木立の中の広い道をゆるやかに登って行く。「一山三千衆」といわれた往時なら、谷々に堂塔なり草庵など修行僧の宿坊も数多く配されていたに相違ない。しかし、元龜二年（1571）9月12日、信長による焼き討ちにあって以来、ほとんどすべてを失ってしまった。そんなことに思いを馳せながら、一時間半ほど歩いて横川に達した。ここ是最澄の弟子、円仁がひらいたところで、第18代座主元三大師が大いに横川教学を発展させた。横川中堂に参拝した後、昭和41年に開通した奥比叡ドライブウェイに沿う尾根道を西塔、東塔をめざして南へ歩いた。大原の里、琵琶湖を垣間見ながら明るい道を進んだが、いにしえから修行僧は千日回峯行で灯りのない道を歩き続けたであろう。現代の道はよく整備されて歩きやすい。釈迦堂、法華堂、浄土院を巡った後、昼食を摂り、当初予定していた雲母坂を下るのを止め、ケーブルカーで八瀬におりた。

例会情報

本日のメニュー（2月20日）

ビュッフェスタイル

次回のメニュー（2月27日(ミリオン和食)）

御井 鶏井（若鶏塩焼き ヘルシーセロリ 刻み大根 ミニトマトスライス 大葉 檸檬 京葱 黄韭
煎り胡麻 胡麻油）

小鉢 小松菜と揚げのたいたん（豚ばら 人参 木の芽）

赤出汁

香物（三種）